河内

KAWACHI

社会部大阪総局
☎06（6633）9734
FAX06（6633）9738
東大阪駐在
☎06（6747）3302
枚方駐在
☎072（841）5575
富田林駐在
☎0721（25）5735
豊中駐在
☎06（6850）7320
高槻駐在
☎072（674）0770
吹田駐在
☎06（6386）6071
堺支局
☎072（233）0406
関西空港支局
☎072（456）7220

若者応援 神様との「約束」

東大阪の会社社長・植田さん 毎年スピーチコンテスト

若者の夢の実現に力を貸す中小企業の社長がいる。スマートフォン関連商品などを手掛けるサンクレスト（東大阪市）の植田実さん（62）だ。植田さんが理事長を務める一般財団法人「青少年夢応援隊」（同）は毎年秋に「夢スピーチコンテスト」を開催。若者が自身の夢をテーマにスピーチを行い、受賞者には支援金50万円を贈る。植田さんが3年前にこのコンテストを始めたのは、ある〝約束〟がきっかけだった。（香西広豊）

サンクレストの社長で「青少年夢応援隊」理事長の植田実さん　＝東大阪市

平成7年3月、植田さんを突然の出来事が襲った。当時、10歳だった長男に「耳下腺がん」が見つかったのだ。ただちに手術を受けたが半年後に再発。有効な治療法を求め、全国のさまざまな医療機関をわらにもすがる思いで訪ね歩いた。

その傍ら、地元の石切劔箭神社で、夫婦でお百度参りをした。「長男がせめてあと10年生き、20歳を迎えさせてやってください。願いがかなえば、必ず世の中のためになることをします」と誓いを立てながら。

約1週間後、長男の友達の父親がその病気について書かれた本を持ってきてくれた。本にあった病院に駆けつけ、治療を受けた。長男は命の危機を脱して無事20歳を迎え、32歳の今も元気に暮らしている。

「神様が約束を守ってくれた。だから私も『子供の夢を見守る』という形で約束を守りたい」

植田さんは感謝の気持ちを込めて、25年6月に青少年夢応援隊を立ち上げ、同年秋から「夢スピーチコンテスト」を始め、若者の夢実現を支援し続けている。

昨秋の第3回コンテストでは、「将来は教師になりたい」という夢を語った大阪市内の女子高生が最優秀賞に選ばれ、50万円の支援金が贈られた。

今年は10月に開催予定で現在、府内の全高校に4月に配布する参加者募集チラシの作製を進めている。5月からは自ら高校を訪れ、参加要請を行うという植田さんは「将来は全国レベルのコンテストを目指したい」と意気込む。

「ちょっとええ話」お寄せください

「ちょっとええ話」をテーマに、皆さまからの投稿や情報を募集します。身近にあった気持ちが温かくなる話や、くすっと笑えるエピソードなど、すてきなお話をお寄せください。原稿や情報を、手紙かはがき、またはFAX（06・6633・9738）かメール（osaka-eena@sankei.co.jp）で。投稿の場合は600字程度。住所、氏名、年齢、職業、電話番号を付記し、〒556－8661　大阪市浪速区湊町2の1の57　産経新聞社会部大阪総局「ちょっとええ話」係まで。

なお、原稿は返却できませんのでご了承ください。掲載時には添削することもあります。

病気の長男 20歳を迎えさせてくれたら…

ちょっとええ話

3500人「春」めざす

28年度公立高特別選抜試験

■23～27面に問題と解答

府内公立高校の平成28年度入試の本格的なスタートとなる特別選抜が22日、府立高など18校で行われ、約3500人の受験生が学力検査に臨んだ。23日に実技検査や面接があり、合格発表は3月1日。

府教委は今回の入試から選抜方法を変更し、原則3月に一本化した。特別選抜は実技検査のある専門学科などが対象で、総募集人員2455人に対し3516人が出願。平均倍率は1・43倍となった。

大阪市天王寺区の府立夕陽丘高校では、音楽科（募集人員40人）に74人が出願。受験生らは、午前9時の試験開始と同時に真剣な表情で問題に取り組んだ。

このほか、海外から帰国した生徒や外国人生徒を対象にした入試も行われた。

問題に取り組む受験生ら＝大阪市天王寺区の府立夕陽丘高校

特別選抜では、中学終了までに学習する基礎的な知識を問うことに主眼を置きつつ、思考力、判断力、表現力を総合的に問う問題が出題された。府教委が発表した、各教科の出題のねらいは次の通り。

出題のねらい

【国語】話す・聞く、書く、読むといった分野から偏りなく出題した。A問題では文章の要点を整理してとらえる力などを問うた。B問題では、文章のポイントをとらえて過不足なくまとめる力をみた。古文では、掛詞が示す内容を理解する力を試した。

【数学】A問題では基礎的な計算力をみることができるよう工夫した。B問題は計算力に加え、関数や図形に関する力を問う問題を出題。身近にあったできごとを題材に、文字を用いて表現する力や関数関係を読み取る力を問うた。

【英語】実践的なコミュニケーション能力をみる問題を出題した。B問題の英作文では、日本の風景を留学生に英語で説明する場面を設定し、必要な事柄を的確に伝える表現力を問うリスニングでは、具体的な指示や大切な部分を把握する力をみた。

旬の野菜中心に 楽しみながら健康づくり

あす梅田にカフェオープン

旬の野菜を中心に栄養バランスにこだわったオリジナルメニューを提供する「root cafe（ルートカフェ）」が24日、大阪市北区の阪急梅田駅「BIG MAN」下にオープンする。

梅田で働くオフィスワーカーや買い物客らをターゲットに、楽しみながら健康づくりに役立ててもらおうと出店。阪神野菜栽培所が水耕栽培したグリーンリーフやフリルレタスなどを使い、管理栄養士監修のメニュー約80種類を用意した。

店名のルートは「根」の意。体を根っこから見つめ直してもらうきっかけにしてほしいとの願いから名付けられた。「ゆず風味の鮭とアボカド丼」（900円）や「豆腐バーグと焼き野菜の黒酢あんかけ丼」（同）などで、健康状態に合わせてスムージーやハーブティーを選ぶこともできる。

午前7時～午後11時。問い合わせは同店（☎06・6372・5400）。

栄養価の高い野菜を使った「Choice デリセット」（1250円）

大阪万博「実現性見極めたい」

衆院予算委 菅官房長官が答弁

府が誘致に向けて取り組んでいる2025年の国際博覧会（万博）について、菅義偉官房長官は22日の衆院予算委員会で、「（大阪府や大阪経済界の機運や収支計画などを確かめながら）政府として開催計画の実現性を見極めたい」と述べた。おおさか維新の会の遠藤敬国対委員長＝大阪18区＝の質問に答えた。

菅官房長官は「万博は開催国の魅力を世界にまるごと発信する絶好の機会で、日本が元気になる起爆剤になる」という安倍晋三首相の発言を踏まえ、政府が会国際事務局の登るため地元の支テーマ、期間、収いて具体化が求と答弁。「政府と計画の実現性を元の機運や情勢トづくりなどの て、大阪府や大の皆さんからし ってまいりたい

富田林の「御利益」満載

公民館の講座受講生らがリーフレット

富田林市内の・発信しようと公民館で開かれ「ふるさとの魅！富田林百景」が隠れた名所を内で開かれた にも「国際人材 ー」（仮称）を企業側に留学生

留学生の雇用

産学協同で

関西支援連

海外からの留雇用の場を産学しようと、「関際交流支援連絡し、懇親会が22